

ネイチャー・ウォーク

平成 年 月号
200 . . 発行
(通巻第 号)

ECO  SAITAMA (財)埼玉県生態系保護協会 部会：自然を歩く会

■先月のネイチャーウォーク

あしたのショー

～狭山丘陵～

(西武鉄道 西武球場前駅 ～ 西武バス 荻原バス停)



今回のネイチャーは、西武鉄道西武球場前駅を起点にし、早春の狭山丘陵を歩きます。

当日は、西武球場で野球の試合があるようで、駅周辺には野球ファンが大勢いました。30名の参加者のみなさんと、野球の熱気に負けられない元気に出発です。

最初のポイントは、「狭山不動尊(狭山山不動寺)」です。徳川二代将軍秀忠の墓所にあった門である勅額門や御成門など、由緒ある建造物が全国各地から移築されています。



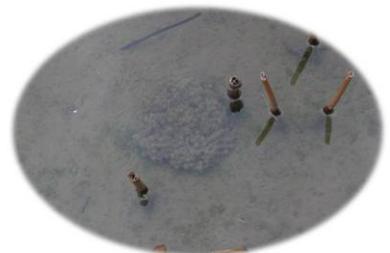
勅額門<重要文化財>

←御成門<重要文化財>の裏側に回ると天井の中央に天女が描かれているそうで、みんなで早速裏側へ。みんなであれだ。あれだよ。と順番に天井を覗きこみました。

御成門→



本堂前の蓮の咲く池では、残念ながら今の時期花を見ることはできませんが、かわりにアカガエルの卵を発見しました。→





狭山湖に到着すると早速、何かを発見！ 双眼鏡も駆使し、みんなで目を凝らして見ると、あたまの毛がボサボサの「カムリカイツブリ」でした。きれいな夏羽に生え変わるにはもう少し時間がかかりそうです。

その他にも、キンクロハジロやスズガモなどを見ることができました。

狭山湖を過ぎ、雑木林の中を歩いていきます。

フキノトウがすでに顔を出していました。春だね～とみんなで一言。この調子で春を探しながら歩みを進みます。



粗い編み目で中が透けて見える繭を発見！ クスサンの繭です。俵型でスနေケな見た目から、別名「スカシダウラ」と呼ばれているそうです。

その不思議な見た目に、驚きの声が上がっていました。



クスサンの幼虫期は、白くて長い毛に覆われているので「シラガタロウ」とも呼ばれるそうです。

春と言えば、「花粉症」という人も多いはず。そんな人たちの天敵、スギ花粉!! 見ているだけでも、目がかゆくなりそう。とみなさん、足早に脇を通り過ぎていきました。



今回はなんと、タヌキが出現するというサプライズがありました。残念ながら、すぐに姿を消してしまったため、その姿を写真に残すことはできませんでした。それでも、見ることができたみなさんからの喜びの声を聞くことができました。





←道脇の岩と岩の間のわずかな隙間からタチツボスシが顔を覗かせていました。

雲行きが徐々にあやしくなってきたので、足早に昼食場所の「さいたま緑の森博物館」へ。

さいたま緑の森博物館は、かつての武蔵野の面影、雑木林や湿地を含む里山の景観が残っている場所です。屋外には展望広場もありますが、雨が降り出しそうなので、施設の屋根の下でお昼ごはんをいただきました。



ここで、恒例「認定証」授与式を行いました。今回の該当者は、3名。
いつもありがとうございます！



ここから解散場所のバス停まではあと少し。雨が降り出してきてしまったので、急いで出発です。

やや肌寒い、あいにくの天気でしたが、それでもたくさんの春を発見することができた今回のネイチャー。みなさん、お疲れ様でした。

今年度のネイチャーウォークは、今回で終了。次年度も引き続き、みなさんに楽しんでいただけるようなコースを紹介できたらと思っています。よろしくお祈りします。